

# 宮崎県教育研究連合会

## 管理職等任用試験練習問題(2020 年度版)

### (問題編)

- I 練習問題です。研修会までに、各自で、内容を研究しておいて下さい。研修会では、模範解答を示し、内容を検討します。ただし、問題数が多いので、全ての問題について、事前に検討する時間はないかと思います。問題に目を通すだけでも結構です。
- II またもや内容を欲張りすぎたので、相当に、設問が多くなりました。また、解答欄が、狭いかも知れません。その場合は、別紙等をお願いします。
- III 全て(校長・教頭 共用)として作問してあります。しかし、設問によっては、「教頭として」等の指定があるものもあります。その場合は、各自の受験される職種に読み替えての解答をお願いします。
- IV 今回の内容は以下の通りです。最近の国や県の動向を踏まえた内容項目を中心に作問しました。

- 1 学校における働き方改革(1)・(2)・(3) (※改訂版)
- 2 学校における働き方改革(1)・(2) (※宮崎県版)
- 3 新学習指導要領下での学習評価のあり方
- 4 特別支援教育の充実 (改訂版)
- 5 児童虐待(1)・(2) (改訂版)
- 6 地域創生を踏まえた「地域とともにある学校」(1)・(2)
- 7 体罰の撲滅(1)・(2) (改訂版)
- 8 コンプライアンスの推進 (改訂版)

## 1 学校における働き方改革 改訂版(1)

平成31年1月、中教審答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（以下、「答申」と略す。）が取りまとめられた。これに基づいて、学校の働き方改革に関わる次の設問に答えなさい。

- (1) 答申では、我が国の学校教育によるこれまでの大きな蓄積と成果を持続可能なものとし、新しい学習指導要領を円滑に実施していくために乗り越えなければならない課題を2つあげている。1つは、教師が我が国の学校教育の蓄積を受け継ぎ、授業を改善するための時間を確保できるようにするため教師の働き方の実態を改革すること（学校における働き方改革）としているが、もう1つの課題は何か。
- (2) 学校における働き方改革の目的は何か、答申を踏まえて述べよ。
- (3) 答申では、平成28年度に10年ぶりに実施され、平成30年9月に公表された「教員勤務実態調査」の分析結果を取り上げている。10年前の前同調査に比べた勤務時間の増加など、教師の厳しい勤務実態が明らかになっているが、教師の勤務時間が増加している要因として挙げていることのうち3つを書きなさい。

## 1 学校における働き方改革 改訂版(2)

平成31年1月、中教審答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（以下、「答申」と略す。）が取りまとめられた。これに基づいて、学校の働き方改革に関わる次の設問に答えなさい。

- (4) 文部科学省「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」（平成31年1月25日）では、勤務時間の上限の目安として、「1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が、45時間を超えないようにすること」としています。勤務校の教職員の勤務時間の実態を踏まえて、ガイドラインが示す上限の実現に向けてあなたならどのような具体策を考えるか、箇条書きであげよ。
- (5) 校長より、時間外勤務時間が月45時間を超える教職員の把握と指導を行うよう指示があった。この指示を受け、教頭として自校の課題を明らかにし、改善策を具体的に述べよ。
- (6) 「答申」において、「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」の具体的事項が示されています。ここで示された業務の1つについて改善策をあげながら、教職員の熱意と労務管理をどのように両立し、働きがいのある職場づくりをしていくのか具体的に述べよ。

## 1 学校における働き方改革 改訂版(3)

平成31年1月、中教審答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（以下、「答申」と略す。）が取りまとめられた。これに基づいて、学校の働き方改革に関わる次の設問に答えなさい。

- (7) 長時間労働が深刻な問題となっている中で、若手教職員の育成・支援に、学校としてどう取り組むか、具体策を述べよ。
- (8) 学校の業務改善に関して、学校において改善が可能なことの1つとして、学校行事の見直しがあげられるが、管理職として具体的にどのような方法・手順で、学校行事の見直しを図るか、述べよ。
- (9) 超過勤務時間が著しく多い中堅教員と面談したところ、「自分はやりがいを持って仕事をしており、この程度の超過勤務は負担ではない」と主張する場合、教頭としてどのように対応するか、具体的に述べよ。

## 2 学校における働き方改革 宮崎県版(1)

学校における働き方改革の推進に関しては、中央教育審議会で集中的に議論され、先日、答申等も示されたところである。宮崎県においても、教職員は多様化・複雑化する日々の業務に追われ、新学習指導要領の趣旨を踏まえた本来の教育活動に専念できないため、児童生徒に十分な力を付けさせることが困難となるとともに、教職員自身も疲弊してしまう。その結果、学校の教育力が低下し、地域や保護者の信頼を失う状況に陥ることが懸念されている。

そこで、宮崎県教育委員会では、国の動向等を踏まえ、これまで推進してきた「教職員の働きやすい環境づくりプログラム【改訂版】」を発展的に見直し、「学校における働き方改革推進プラン ～教職員が授業を中心とした質の高い教育活動に専念できるために～」(以下、「プラン」と略す。)を平成31年2月に策定した。これについて、以下の問いに答えよ。

- (1) 「プラン」において、学校における働き方改革の目的について、どのように述べているか。
- (2) 「プラン」において、本県の学校における働き方の課題が5点述べられている。このうちから、あなたの学校において、重要度が高いと思う課題を、重要度が高い順に3点あげよ。(3つあげられなければ、1または2をあげ、以下「なし」と解答する。)
- (3) 「プラン」において、上記の5課題解決のため、「教職員の長時間業務解消への対策の推進」を基本方針として、4つの取組の柱を中心として取組を進めるとしている。その4つの柱を述べよ。
- (4) 文部科学省の「公立学校の教員の勤務時間の上限に関するガイドライン」(H31.1/25)の趣旨を踏まえ、「プラン」では、勤務時間の上限の目安時間について、どのような「達成目標」が設定されているか。

## 2 学校における働き方改革 宮崎県版(2)

学校における働き方改革の推進に関しては、中央教育審議会でも、集中的に議論され、先日、答申等も示されたところである。宮崎県においても、教職員は多様化・複雑化する日々の業務に追われ、新学習指導要領の趣旨を踏まえた本来の教育活動に専念できないため、児童生徒に十分な力を付けさせることが困難となるとともに、教職員自身も疲弊してしまう。その結果、学校の教育力が低下し、地域や保護者の信頼を失う状況に陥ることが懸念されている。

そこで、宮崎県教育委員会では、国の動向等を踏まえ、これまで推進してきた「教職員の働きやすい環境づくりプログラム【改訂版】」を発展的に見直し、「学校における働き方改革推進プラン ～教職員が授業を中心とした質の高い教育活動に専念できるために～」(以下、「プラン」と略す。)を平成31年2月に策定した。これについて、以下の問いに答えよ。

- (5) 「プラン」において、学校における働き方改革推進のための具体的な取組として、県教育委員会・市町村教育委員会及び学校が、家庭・地域・関係機関との連携を図りながら推進を図る、県内一斉の取組を5つあげよ。
- (6) 本「プラン」の推進にあたっては、県や市町村の教育委員会だけでなく、学校や、家庭・地域がそれぞれの役割をしっかりと果たすべきである。学校、及び、家庭・地域の役割を述べよ。
- (7) 設問(2)であげたあなたの学校の課題の一つ、または二つについて、「プラン」において述べられている「学校の工夫による独自の取組」の3項目を踏まえて、校長として、どのように取り組んでいくかを具体的に述べよ。

### 3 新学習指導要領下での学習評価のあり方

「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」(平成31年1月21日)の内容について、次の設問に答えよ。

- (1) 「観点別学習状況の評価」の改善については、今回の学習指導要領改訂で示した資質・能力の三つの柱に合わせて、基本的には三つの評価の観点に整理するとされた。資質・能力の三つの柱を挙げ、それぞれに合わせた三つの評価の観点を答えよ。
- (2) 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別学習状況の評価を実施するにあたり、3つの観点はそれぞれ何を評価するのか、それぞれの関係性を踏まえて簡潔に述べよ。
- (3) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、各教科等の評価の観点の趣旨に照らし、2つの側面を評価することが求められるとしている。2つの側面とは何か、述べよ。
- (4) 指導と評価の一体化の観点から見た場合、①「観点別学習状況の評価」と②「評定」には、それぞれどのような役割が期待されているか、述べよ。
- (5) 各教科等の目標や内容に応じて観点別学習状況の評価を行っていく上では、児童生徒の学習状況を適切に評価することができるよう授業デザインを考えていくことが不可欠である。特に「主体的に学習に取り組む態度」の評価にあたっては、どのように授業改善を図っていけばよいと考えるか、具体的に述べよ。
- (6) 勤務校の校長から「学習指導要領の全面实施に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点から教育課程の改善や授業改善を進めているところだが、学習評価をどのように位置づけていくか、取組内容を検討するように」との指示を受けた。あなたは教頭として、どのような内容を校長に進言するか。学校の働き方改革の視点も踏まえて具体的に述べよ。

#### 4 特別支援教育の充実 （改訂版）

特別支援教育に関する以下の設問に答えよ。

- (1) 平成29年3月に公示された小学校（または中学校）学習指導要領総則、及び、平成30年8月27日公布・施行された学校教育法施行規則の一部改正において、「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」の作成について、それ以前と比べて、どのように変わったか。簡潔に述べよ。
- (2) 平成29年3月に公示された小学校（または中学校）学習指導要領総則においては、「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」について、どのように活用するよう定められているか。簡潔に述べよ。
- (3) 「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」とは何か、説明せよ。
- (4) 特別な支援を必要とする児童生徒に、「個別の指導計画」を作成するうえでの配慮事項を列挙しなさい。
- (5) 新学習指導要領において、障がいのある児童生徒について、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し活用すること等が求められています。あなたは校長として、このことにどのように取り組むか。

## 5 児童虐待(1) (改訂版)

児童虐待に関する次の問いに答えよ。

- (1) 児童虐待の防止等に関する法律において、児童とは何歳に満たない者をいうか。
- (2) 児童虐待の防止等に関する法律において、教職員に義務づけられていることのうち、2つを答えよ。
- (3) 児童虐待の防止等に関する法律には、児童虐待に該当する行為が4つ示されている。「児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること」(身体的虐待)以外の3つを書きなさい。
- (4) 児童虐待の早期発見のために学校としてどのような取り組みを行っていくか述べよ。
- (5) 養護教諭から、「午前中の身体計測時に、児童(生徒)の背中に数カ所不自然な火傷痕を確認した。計測後、どうしてこうなったのか本人に尋ねたが、何も返答しない。ひょっとすると保護者から虐待を受けているかもしれない」との報告があった。以前に当該児童(生徒)の担任からも保護者のしつけの厳しさは聞いていた。あなたは教頭として、この後、どのような対応をしていきますか。要点を時系列で列挙しなさい。
- (6) 母親が父親からのDV被害を受けていることを理由に、両親が別居し、母親と共に転居・転校してきた児童生徒がいる。ある日、児童への面会を、加害側とされる父親が求めて学校にやって来た。
  - ① このことに対応する際の根拠となる法令は何か。その法令名を答えよ。
  - ② この場合の対応について、あなたが、教頭ならばどのように対応するか。簡潔に答えなさい。

## 5 児童虐待(2) (改訂版)

児童虐待に関する次の問いに答えよ。

- (7) 小学校3年生、A子の担任B教諭から、「A子は最近表情が暗く、元気がない。先日は、上腕部にうっ血した跡があるのに気付いた。学級内のいじめによるものかもしれないと思い、注意深く学級内の様子を観察しているが、いじめや暴力の実態はつかめていない。もしかしたら、最近、ニュース等でよく報道されている虐待ではないかと心配になっている」と相談を受けた。教頭として、どのように対応するか、通告後の対応までを含めて、簡潔に述べよ。

## 6 地域創生を踏まえた「地域とともにある学校」(1)

文部科学省は、平成28年1月に『次世代の学校・地域』創生プラン（通称「馳プラン」）を策定し、「チームとしての学校の在り方等」の施策を示し、地域を創生する「地域とともにある学校」を目指している。この考え方は、平成29年告示の学習指導要領の基盤となっており、さらに、平成29年4月施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正などにつながっている。これについて、以下の問いに答よ。

(1) 次の条文が示されている法令の名称を答えよ。

「学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力を努めるものとする。」

(2) 今、なぜ学校と地域との連携・協働が必要なのか、理由を述べよ。

(3) 「児童生徒が輝き、地域や保護者から信頼される学校づくり」の推進のために、学校運営上どのようなことが必要だと考えるか。2点あげなさい。

(4) 地域の教育力を生かした取組について、勤務校で行われていることを、具体的に2つ述べよ。

(5) 「開かれた学校」から一歩踏み出し、「地域とともにある学校」へ転換していくために、教頭として今後どのような取り組みをしていくか。具体的に述べよ。

(6) あなたは教頭として、学校・家庭・地域が互いに連携・協働した学校づくりに向けどのように取り組んでいきますか。具体的に述べよ。

## 6 地域創生を踏まえた「地域とともにある学校」(2)

平成29年4月の法改正により、学校運営協議会の設置が、市町村教育委員会の努力義務となった。これについて以下の問いに答えよ。

- (1) 学校運営協議会の根拠法令は、何法何条か。
- (2) 学校運営協議会を設置している学校のことを、通称、何というか。
- (3) 学校運営協議会の目的は何か。
- (4) 学校運営協議会の委員は誰が任命するか。
- (5) 学校運営協議会の委員にはどのような人材が想定されているか。3つあげなさい。
- (6) 学校運営協議会の委員のうち、保護者・地域住民の身分の取扱はどうなるか。
- (7) 学校運営協議会には法令上どのような権限が与えられているか3つ書きなさい。
- (8) 学校運営協議会と校長との権限上の関係について説明しなさい。
- (9) あなたは校長として、地域創生を踏まえた「地域とともにある学校」の経営をどのように進めていきますか。具体的に述べよ。

## 7 体罰の撲滅(1) (改訂版)

体罰に関する次の設問に答えなさい。

- (1) ①体罰とはどのような行為をいうのか2つ書け。②また、体罰禁止の根拠となる法令は何法何条か。
- (2) 職員が体罰を起こした場合、問われる責任を3つ書きなさい。
- (3) 学校教育法11条により、校長及び教員は懲戒を行うことが認められている。①懲戒の性格について説明せよ。②また、懲戒の具体例を4つ書け。③「校長及び教員が児童等に懲戒を加えるに当たっては、児童等の心身の発達に応ずる等教育・必要な配慮をしなければならない」と規定している法令は、何法何条か。
- (4) 体罰は学校教育法で禁止されていますが、依然として根絶されません。教頭であるあなたは、体罰禁止の徹底にどう取り組むか述べよ。
- (5) 教諭Aが部活動の練習に真面目に参加しない生徒Bを口頭で指導した際、生徒Bが反発し教諭Aに暴力をふるったため、教諭Aは生徒Bを押さえつけて落ち着かせた。その後、帰宅した生徒Bに話を聞いた保護者から電話があり、「子供が体罰を受けたと話しているが、どういうことか」という訴えがあった。
  - ① 学校としてどのように対応するか、教頭の立場から時系列で述べよ。
  - ② 本件について、体罰であるかどうかを判断する観点を述べよ。

## 7 体罰の撲滅(2) (改訂版)

体罰に関する次の設問に答えなさい。

- (6) 児童生徒に懲戒を加える際の留意事項について、管理職として若手教員をどう指導するか、法令等を踏まえて述べよ。
- (7) 各学校では体罰の根絶に向け、注意喚起や校内研修も行われていますが、体罰や体罰につながりかねない不適切な指導が依然として後を絶たず、より実行性のある取り組みが求められます。あなたは校長として、体罰等の根絶に向けてさらにどのように取り組んでいきますか。具体的に述べよ。

## 8 コンプライアンスの推進（改訂版）

本県では、飲酒運転やわいせつ行為・セクハラ等の不祥事根絶とコンプライアンス推進のために、県教育長を会長とする公立学校コンプライアンス推進協議会を設置し、組織的な取組を行ってきた。しかしながら、依然として教職員の不祥事の根絶には至らず、今年度も全県的な取組を推進している。これについて、以下の問いに答えよ。

(1) 令和元年度の本県の重点取組事項を3つあげよ。

(2) 問(1)であげた事項のうち、あなたの学校で最も重要度が高いと思われることについて、校内コンプライアンス推進委員会の運用についてもふれながら、校長としてどのように取り組むか、具体的に述べよ。